※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和５年度　学 国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学 国際文化	韓国・朝鮮語文化Ⅰ	2	2	朝日出版社 「パランセ　韓国語　初級」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

韓国語を初めて習うことを前提としてハングルという文字から学んでいき、日常会話に困らないくらいのコミュニケーション能力を身に着けていきます。そのためには韓国語にたくさん触れることが一番の近道！授業では勉強以外に K-POP を聞いたり歌ったり、映画を見て文化も理解していきます。また学んだことを生かして「ハングル能力検定試験」の５級以上の合格を目指します。

2 学習の到達目標

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	・ハングル文字や数字、会話文などを聞いて情報の概要をとらえることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・正確な発音やイントネーションなどの韓国語の音声的な特徴に注意しながら聞き取ることができる。	・説明や物語などを読んで，情報や考えなどの概要をとらえことができる。 ・説明や物語などを読んで，情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して読むことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・発音やイントネーションなどの韓国語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・簡単な語句や分を用いて自分のことを紹介できる ・身近なトピックや出来事について既習の語彙・表現を使って自分の意見を述べることができる。 ・発音やイントネーションなどの韓国語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・事実と意見などを区別して書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる知識・技能を身に着けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝えあったりしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	ハングル文字と発音 ①母音字 ②子音字 ③有声音化 ④子音の激音、濃音 ⑤パッチム ⑥発音法則 ⑦ミニ会話 ⑧挨拶	聞くこと	a: ハングル文字の組み合わせや発音の特徴を理解している。 b: 身近な話題（自己紹介や挨拶）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題（自己紹介や挨拶）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニング小テスト
		読むこと	a: 文の構造を理解しながら読むことができる。 b: 身近な話題（自己紹介や挨拶）に関する韓国語で書かれた文章を読み、要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（自己紹介や挨拶）に関する韓国語で書かれた文章を読み、要点をとらえようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（発表）	a: 子音、母音、パッチムの正確な発音を用いて話すことができる。 b: 自己紹介や挨拶について簡単な語句や文を用いて話している。 c: 自己紹介や挨拶について簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 自己紹介や挨拶を伝えるために必要な書く技能を身に付けている。 b: 自己紹介や挨拶について簡単な語句や文を用いて書いている。 c: 自己紹介や挨拶について簡単な語句や文を用いて書こうとしている。	定期考査（ライティング）
	期末考査			
2	第１課 助詞「～は」 N です、ですか 第２課 N ではありません 助詞「～が」 第３課 漢数字 助詞「～を」 V/A＋している	聞くこと	a: 数字や多様な名詞を聞き取ることができる。 b: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	リスニング小テスト
		読むこと	a: 意見や情報を区別して読むことができる。 b: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）に関する韓国語の文を読み、具体的な数字や名詞をとらえ話の展開や書き手の意図を把握している。 c: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）に関する韓国語の文を読み、具体的な数字や名詞をとらえ話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（やり取り）	a: コミュニケーションを円滑にする言動（返事・聞き返し等）を理解している。 b: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）に関して自分の意見や必要な情報を伝えるやりとりができる。 c: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）に関して自分の意見や必要な情報を伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: 助詞・漢数字の意味、使い方を理解している。 b: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）について、自分の意見や必要な情報を書くことができる。 c: 日常的な話題（職業や国籍や家族やお買い物）について、自分の意見や必要な情報を書こうとしている。	定期考査（ライティング）
	中間考査			
		聞くこと	a: 身近な話題（位置関係や固有数字を用いる）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題（位置関係や固有数字を用いる）から、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（位置関係や固有数字を用いる）から相手から必要な情報を得る内容に発展させて理解しようとする意欲的な態度が見られる。	リスニング小テスト

※令和４年度以降入学生用

	第４課 V/A の丁寧形 存在詞 第５課 年月日 助詞の縮約形 第６課 固有数字 V/A の否定形① 助詞「～より」 ※暗唱指導	読むこと	a: 文法（名詞、動詞、形容詞、助詞、存在詞）の構造や表現（丁寧形、否定形など）の技法を理解し、情報を理解することができる。 b: 身近な話題（位置関係や固有数字を用いる）について 内容を的確に理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: テーマ（位置関係や固有数字を用いる）について自らの例と比べながら読み、内容を把握しようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（やり取り）	a: 身近な話題（位置関係や固有数字を用いる）について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 身近な話題（位置関係や固有数字を用いる）について、自分の考えを伝え、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手から必要な情報を得るために話しかけることも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	スピーキングテスト 暗唱大会
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	定期考査（ライティング）
3	期末考査			
	第７課 勧誘形 助詞「～に」 第８課 V/A の否定形② 助詞「～から ～まで」 動詞の意志表現 ※ハングル能力検定 対策指導	聞くこと	a: 身近な話題（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）について、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握し、主体的積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	リスニング小テスト
		読むこと	a: 文法（用言の否定形・勧誘形）の意味と構造を理解し、本文を理解することができる。 b: 身近な話題（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）に関する韓国語を読み、話の展開を把握することができる。 c: 身近な話題（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）に関する韓国語を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	定期考査（リーディング）
		話すこと（発表）	a: 文法や語彙、表現を効果的に使い、韓国語の音のつながりにも注意を払い、テーマ（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）について自分の意見を簡潔にまとめることができる。 b: テーマについて自らの体験をもとに考え、否定・勧誘表現を例に挙げて、まとめて話すことができる。また円滑な対話ができるように意思疎通を行うことができる。 c: テーマについて自らの体験をもとに考え、否定・勧誘表現を例に挙げて、意欲的に自分の意見を伝えようとしている。	スピーキングテスト
		書くこと	a: テーマ（時間、自分の行動、意志や推量を表す表現）について自分の意見を伝えるために、効果的に語彙、文法表現を使うことができる。 b: テーマについて状況に応じた語彙や表現を効果的に使いこなし、自分の意見や情報を適切にまとめることができる。 c: テーマについて自分の体験をもとに考え、様々な情報を踏まえて意見をまとめて伝えようとする態度が見られる。	定期考査（ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度